

神石高原



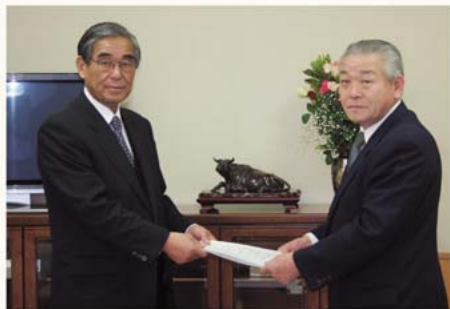
2004年
No.2

12月号

特集 町長初登庁

神石高原町のホームページ <http://www.jinsekigun.jp/>

登庁



十二月六日（月）午前九時、多くの職員の出迎えを受け、初代神石高原町長となった牧野雄光町長が初登庁しました。玄関前で職員代表から花束を受け取り町長室へ入りました。

その後、職員への訓示で、「合併してよかったと思われるように、みなさんと一緒に新町のまちづくりに努力していきたい。」と新町建設へ向けた意気込みを述べられました。

また、岡崎齊町長職務執行者からの引き継ぎ、マスコミ対応、あいさつまわり等、多忙な一日となりました。



12月号
2004年
No.2

広報

神石高原

CONTENTS

② 特集 町長初登庁

- ・就任のご挨拶
- ・選挙結果

⑤ 自治振興会の紹介

⑬ 秋はスポーツ

⑭ TOPICS&NEWS

各地区での催し

⑯ 仙養ヶ原／帝釈峡スコラ高原

⑰ 油木高校ジャーナル／交番だより

⑱ 神石高原のいきいき農業

⑲ 町からのお知らせ

㉑ 保健福祉センターだより

㉒ 暮らしのインフォメーション

㉔ 図書館だより

㉖ お誕生・お悔やみ

㉘ 今月生まれのお友達

特集

町長初



新町長のプロフィール

名前 まきの ひろのぶ
 牧野 雄光
 住所 神石高原町油木甲 1830 番地 1
 略歴 油木町長 (旧油木町)
 (H14.4.7 ~ H16.11.4)
 油木町議会議員 (旧油木町)
 (S48.3.31 ~ H4.3.30)
 副議長, 監査委員を歴任
 神石郡森林組合長
 (S62.8.3 ~ H14.4.5)

就任のご挨拶

今年も師走に入り何かと慌ただしさを覚える頃と
 成りました。町民の皆様方にはご壮健にて送日のこと
 と存じます。

さて不肖私こと、先般の町長選挙におきまして多
 くの皆様のご支持を頂き、当選の栄誉を賜わり神石
 高原町の初代町長に十二月六日付けで就任を致しま
 した。これも偏に皆様方の尽瘁の賜物でございまして
 改めてここに深く感謝の意を表する次第であります。

選挙でも訴えました、「信頼と協調」「創造と改革」
 をモットーに町民一体化を図り行政と住民が協働し
 て、新しい町づくりに邁進する決意でございます。ど
 うぞ町民各位のご理解と絶大なるご協力を節に懇願
 申し上げ誠に措辞ではございますが就任に当たっての
 挨拶と致します。

神石高原町長 牧野 雄光

神石高原町長選挙 神石高原町議会議員一般選挙結果

1票に願いをこめて町づくり

投票率 91.13% (町長選挙)

12月5日に行われた神石高原町長選挙及び神石高原町議会議員一般選挙は、11月30日に告示され5日間の選挙戦が繰り広げられました。

5日は、午前7時から町内30カ所の投票所で投票が行われ、正午時点での投票率は70.69%、最終投票率91.13%と、身近な選挙に有権者の関心の高さがうかがえました。

今回の選挙の各地区(旧町村)での投票結果は次のとおりです。



神石高原町長選挙 (投票率)		神石高原町議会議員一般選挙 (投票率)	
油木地区	92.67%	油木地区	92.63%
神石地区	89.00%	神石地区	88.96%
豊松地区	93.07%	豊松地区	93.07%
三和地区	90.62%	三和地区	90.62%
全 体	91.13%	全 体	91.11%

期日前投票をした有権者数

油木地区	549人	(当日有権者数	2,660人)
神石地区	322人	(当日有権者数	2,463人)
豊松地区	399人	(当日有権者数	1,573人)
三和地区	469人	(当日有権者数	3,797人)
合 計	1,739人	(当日有権者数	10,493人)



城山自治振興会

横山 卓司

地方分権の推進により、自治体を取り巻く環境も様変わりしつつあります。こうした中、町村合併を目前にした九月三十日城山自治振興会を立ち上げ、「自らが活力ある住みよい地域づくり」を目標に当面、運動広場の整備・防災防火訓練・グラウンドゴルフ大会・農作業の共同化等各部会の主体的な活動を充実させることが、振興会の基盤づくりと考えています。

紹介します

— 31自治振興会 —

“人と自然が輝く高原のまち”
神石高原町がスタートし1カ月が経ちました。こうした中、地域づくりのかなめ“自治振興会”も活動を始めています。

31の自治振興会の会長さんに地域の特性や今後の取り組みなど聞いてみました。



いちば自治振興会

佐伯 嘉昭

いちば自治振興会は、商工業者と一般住民の混住世帯で形成され、考え方もさまざまです。従来の四行政区が一つの振興会を形成したので、コミュニケーションも希薄です。住んで良かったと言える町づくりはまず連帯意識の醸成からだと考えています。そのためこの住民組織が、今後、どのような自治振興会を目指して進むか現在模索中ですが、人と自然の輝く“いちば”づくりを推進していきます。



西油木自治振興会

川上 忠志

自治振興会の役目は、少子高齢化・過疎化により地域社会の機能が低下しつつある状況下、住民の意見や要望を行政に反映し、一方では自らの意思と責任による個性的な地域づくりを進めるのが役目であると考えます。私達の振興会では、四部会を設け現段階では細部にわたっての活動計画は検討中ではありますが、まず、地域の住民意識を一つにする事を目的に、若者を中心に将来に向かって明るい灯を燈そうと地域の中心地に大きなイルミネーションを点燈しスタートしました。

東油木自治振興会

森上 忠後



東油木自治振興会は、「細田」「出佐」「岩貝」「宗兼」の行政区で成り立ち、今日まで東油木活性化協議会のもとで、三世代交流グラウンドゴルフ、視察研修、「新年会」等親睦をはかり、また各地域ごとでの「盆踊り」、四季を通しての花見行事等、多くの交流を重ねて来ました。今後、少子高齢化が進む中で、これらを継承しながら互助の精神と、お互いの英知を出し合い、自然環境を生かした地域づくりを推進して行きたいものです。

南ゆき自治振興会

山本 剛久



旧油木町のシンボル権現山の東裾に位置する南ゆきは、国道一八二号と県肉用牛改良センターに抱かれ、馬塚古墳にみられるように弥生時代から人々の生活の場であった地域です。長い歴史と先駆の伝統は、新しいまちづくりにかける熱意の源となっています。そのお手伝いが私には、「荷が重い」と言う感じもありますが、微力を尽くすつもりであります。

安田自治振興会

谷川 角三



安田自治振興会は、人口三六三人高齢者六十歳以上約五〇%の状況にあり、少子高齢化の現状で自治振興会を推進するには、一人ひとりの自覚と安田が置かれている状況の認識が重要だと思います。

一、若い者の定住出来る環境づくり「職場提供」

一、高齢者に対する福祉施設の充実「特定非営利法人、高齢社会を生きる会」設立を目ざす。

そういった環境整備の中で活気ある安田づくりをしたいと思っています。

小野自治振興会

前原 弘臣



小野自治振興会は、小野ふる里づくりの精神を引き継ぎ、住民全員「子どもから大人」を会員として組織しています。先輩方の長い活動により、組織体制や活動の内容は、定着しています。それを今回、自治組織として再スタートしました。今後は、自治振興会として最良の活動を検討しながら、成熟した振興会になることを願っています。ここで少し、地区の紹介をしますと、元旦の初日の出をみる会、ふる里交流の夕べ、小野地区ふる里祭・敬老会は、全て手づくりです。どれも歴史を持った行事の一つ一つです。



新坂自治振興会

津村 博巳



神石高原町誕生に伴い、自治振興会が設立され、会長の重責をお受け致しました。新しくスタートした自治組織で問題点も多くあると思われますが、行政との窓口として住民との連携を密にしていきたいと思っております。

我が地域では、平成九年六月に受託センターを設立し農用地利用改善組合ニューファーム新坂の名称で地域の農業振興に活躍し、今年油木地域で初めての農事組合法人を設立しました。地域住民が心配している周辺地域の問題や、行政が遠くなる等の不安もありますが、行政と連絡体制を強固にして、地域住民の要望に応え新町のまちづくりを進めていきたいと思っております。

仙養東自治振興会

平元 行信



高齢化の進む中で自治振興会の設立はしたものの、中には回覧さえまわらない地区もある中での運営は、困難なものがあります。高齢者の健康とコミュニケーションの維持が、一番の課題だと思います。もうひとつ耕作放棄による農地の荒廃が深刻になっていきます。

いずれも一刻の猶予もありません。地域の方々の知恵を頂きながら地域づくりを進めていきたいと思っております。

仙養西自治振興会

清川 満



振興会の設立は出来たものの、仙養地区は平成十七年三月末まで今の体制で運営されてます。

高齢化社会の中で地域をどう守っていくか、特に役職の簡素化など各班の負担軽減が必要だと思います。多くの検討課題があると思いますが、役員会を重ねて一つ一つ具体化していきたいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。

牧自治振興会

秋山 軍次



牧地域は、平成十二年よりコミュニティ組織「五和会」を立ち上げ活動し、二年前その中に地域づくり研究部を設け、企画環境・産業文化・福祉教育の専門班で水車づくり、農業法人設立案、老人福祉等、各班とも実行に向けて進めています。恵まれた自然と人材を生かし、住民自らが知恵と汗を絞る、誰もが楽しく幸せに笑顔で暮らせる地域をめざし活動します。

草木自治振興会

岡崎 武志



神石高原町の新たな町づくり構想である「人と自然が輝く高原のまち」の実現を目指すためには、地域住民全員参加による町づくり・地域づくりに取り組みが必要があります。高齢化・少子化といった厳しい現実のなかにある草木自治振興会ではありますが、自然にあふれ素晴らしい地域文化があります。これらを大事に維持・継承することにより、人々とのふれあいや支えあいで地域の維持活性化を目指して行きたいと考えています。住んで良かったと言われる草木地域をめざします。また、福井川マスつり大会を復活させ、農村と都市の人達とのふれあいで地域活性化につながればとの思いで取り組みを始めました。

福永自治振興会

寺田 暢之



我が福永自治振興会（福永和泉会）は発足後一年が経ちました。福永地域には農業と商業という二つの大きな地域資源がありますが、私たちは、先人が築いてこられた歴史と、こうした貴重な資源をもとに、地域の独自性を活かした地域づくりに住民の皆さんの英知を結集し、強い自治振興会を創ることが責務と考えています。住民主体の地域づくりに取り組むことが、心豊かですまよい社会の構築につながり、また福永自治振興会の発展につながると考えています。

田頭自治振興会

藤井 仁士



五月に田頭自治振興会が発足し、二十二名で研究班を設け毎月一回自由な発想で田頭の将来について知恵を出し合い、十六年度でまとめ十七年度に実践する計画です。住民全員参加の為に、健康が第一条件です。EM自然農法で自分が食べる物は自分で作る、食べて健康になり環境も良くなる循環型社会を目指し努力する事が今一番求められる事と思います。

高光自治振興会

黒田 昇



高光では昭和四十年代学校統合により小学校・中学校と相つぎ姿を消しました。が、町によって小学校跡地に老人集会所が建築され地域コミニティ作りの拠点となっています。平成十四年高光会を結成し、総務・コミニティ・福祉・体育の部会を中心に活動をしています。特に今年は高光の古今を後世に伝えるべく記念誌「高光」を発刊し地域内外より好評を博しています。



古川自治振興会

伊勢村春行



昨年組織した古川地域づくり研究班では、地域づくりマップをもとに古川を自分の足で歩き三回の行事を行ってきました。その他に古川地域は、昭和六十三年に地区社協を設立して、健康推進委員による手造りおせち料理を一人暮らしのお年寄りの家に配食するなどのコミュニティ活動を約十七年間続けています。

地域づくりとは人づくりであると思っていますので、これからもみなさんからの感謝の言葉をはげみに、それぞれ地域の能力を引き出せる企画等考えて行きたいと思っています。

相渡自治振興会

秋中 良二



相渡には立派な自然と多くの遺産があり、それらを地域おこしに取り組んでいます。相渡八幡宮は約三百年前に建築されたもので、町の文化財指定を受け、専門家は国宝級とも言います。今年二回

目の「森のコンサート」では、遠くから大勢の方に来ていただき、今後も継続を考えています。その他運動会、盆踊り、区民の集いと、小学校が行っていた行事を区民と振興会が一緒に参加し、地域の元気が出ればと取り組んでおります。



永野自治振興会

城後 明



過疎高齢化になり、個別の家庭では対応できなくなってきました。様々な機能を地域で再編して不安のない豊かな生活を送る為の仕組が必要となっています。わが永野地域では旧永野小学校の

校舎を新たな地域づくり「支援拠点施設」なごの村」として都市と農村の交流を中心とした地域住民のコミュニティ活動の拠点として利用しています。

地域資源を活用した地域作り「幻の鍾乳洞」や手づくりの花面公園があります。今後この資源と住民パワーをもとにさらに地域の活性化を推進していきます。



南自治振興会

水 学



いよいよ神石高原町が発足しました。当分のあいだは旧町単位の間人間関係が重視されそうですが、一日も早く融和が図られることを願っています。若い人が定住しなくなった農村も超高齢化となり、今後農地などどのようにして守っていくのか、行政をはじめ住民一体となって対策を考えなくてはならないと思っています。課題の多い船出となりそうです。

上豊松自治振興会

井上 彰



度重なる設立準備会が行われ協議の末、総論賛成各論……で五里霧中の中、前途多難な航海へと旅立ちました。四つの専門部会に分けて今後



は部会単位で協議して運営する方向です。伊勢丘地区（福山市）の住民組織「さくらんぼの会」との交流にも力を注いでいき高齢化の進む中、荒地地を無くして安心・安全に暮らせる「人と自然が輝く」地域づくりをめざします。

下豊松振興会

笹部 博幸



合併前より準備委員会を立ちあげ、元氣な下豊松地域を目指して住民からの意見等をとり入れながら協議をかさねてきました。九月二十五日「下豊松振興会」を設立し「共に支え合い安心して暮らせる地域づくり」を目標として頑張っています。豊松には全国でも一つしかない紙ヒコキ・タワが、自然にやさしいエコ紙を使つての大会も盛んに行われています。その他、名所旧跡も活用し楽しい地域にしたいと思っています。

笹尾振興会

毛利 文範



西は清流天田川、北は成羽川ダムを有する我がふるさと笹尾振興会は、本年三月末に地域の状況や今後の活動計画を決定し設立しました。その活動は、安全、安心な地域を目指すし、高齢家庭への週一回の「安否訪問事業」、「地域サロン」での交流、交通安全デモ隊など行っています。息の長い活動が出来るように、笹尾に住んで良かったと言える地域にしたいと思っています。



有木自治振興会

小坂圭一郎



有木自治振興会は神石高原町の東端に位置し世帯数一四五戸、人口四八一人の振興会で、高齢者の多い地域で周辺地のため行政サービスの下では当然の事とされます。一人ぐらし老人の福祉の問題、特に医療面について役員やボランティアの皆様の協力を得て、安心と安全な地域づくりに、取り組むと共に、伝統文化の継承に努めて参る所存であります。

井関大矢自治振興会

立原 忠義



私達井関大矢自治振興会は、今も迷いと戸惑いの中にあり、何をやるべきか、何が出来るか自問している最中です。地区の人達に井関大矢が好き、みんなで何かをしたいと思えるように今から知恵を出し合って、少しずつ前進して行きたいと思っています。

時安自治振興会

平田 行雄



昭和初期に設立した時安区民会と、平成八年に指定された地区社会福祉協議会の伝統を継承しながら、物的環境整備と精神的環境改善の両輪が、住民主体で調

和的に推進されるよう組織運営に意を注ぎ、一人ひとりが生かされ地域で承認される喜び・存在感・所属感が生き甲斐につながるよう、意識統一と実践統一をめざします。人づくりが地域づくりの根幹だと思います。



坂瀬川自治振興会

高浦 了完



坂瀬川自治振興会は、前身の坂瀬川区民会をそのまま継承していきます。少子高齢化の進む中で暗模様の状態ですが、過去の活動を踏まえて町との連携を密にし、農産物の生産活動を中心に社会福祉の増進、生活環境の整備、地域文化の継承と保存、青少年健全育成等、分権社会を見つめ、より住みよい町づくり推進に努力します。

小島自治振興会

久吉 岩男



人口一、二五四名四一〇世帯。このビッグな大所帯が我が小島自治振興会です。このかじ取りを任された今の心境は、無免許の私にいきなり大型車の運転を命じられた思いです。しかしやっとながら振興会も役員体制が確立し、始動しはじめました。毎月、定期的に専門部会（約一〇〇名）を開き、会員の意見を集約し、アクションを起こしていきたい。まずは基盤づくりであると考えています。

上自治振興会

山下 祥二



恵まれた自然環境の中で、神石高原町の誕生によって、今までは違ったいろいろな形での出会いがあります。まずは、物づくりではなく人づくりを推進しておとしよりから子どもまで、一つ一つの出会いを大切にしながら、地域の皆さんがふれあい、わかちあう健康で心豊かな人づくり、信頼できる仲間づくりが出来ることを願っています。

高蓋自治振興会

佐伯 知省



わが振興会は、世帯数三〇〇戸、人口一〇〇〇人、班数十三と大所帯のため、振興会として統一した活動計画を性急に行うことは、かえって地域の結束を乱すことが予測されるため、当面地域内の同好会等各種団体との協調を行い、住民全体の意見を十分反映し、時間をかけて長期的な活力ある地域づくりに、微力を注いでいきたいと考えています。

父木野自治振興会

森田 丈吉



合併と同時に広域化した社会制度のもと、これからは、IT社会となり情報の混濁の中で、迷路にまよい込む事態も考えられます。早く正しい情報キャッチの組織の確立には、従来から組織されている福祉協をベースにして、老若男女、子ども達、人それぞれの夢、希望、温めている構想を出しあって父木野に有る文化や先人達の知恵を守り、住民の納得のゆく、住民が安心して住める自治振興会を作って行きたいと思っています。

木津和自治振興会

岡本 信男



神石高原町は町の中では県一の高齢化率、住民意識が的確に中央に届きにくい、そこを協働補充するのも自治振興会の大きな設立意義であると思います。
農業基盤整備一連の仕事も一段落を見たものの高齢化が急に加速してきた木津和自治振興会は、この状況をしっかりと受け入れて、お年寄りも子ども達も幸せを感じて行けるように、価値観や立場を越えて、お互いに常に共通課題をもって、その目的達成に向けて励みたいと思います。

秋はスポーツで大奮闘

健脚を競う

11月14日(日)合併に伴い名称を変更し、新たに「第1回 神石高原町駅伝競走大会」が開催され、三和中学校をスタート・ゴールとし町内8区間23kmで、町内外から11チームが参加しました。大会まで厳しい練習を重ねてきたランナーたちは、沿道の町民から熱い声援を受け、力強く駆け抜けていきました。

入賞は次のとおりです。

- 中学校男子の部

1位	三和中学校駅伝部		
2位	三和中学校野球部A	3位	三和中学校野球部B
- 中学校女子の部

1位	三和中学校駅伝部
----	----------
- 高校の部

1位	油木高等学校野球部
----	-----------
- 一般の部

1位	甲奴郡陸協	2位	サンワランナース	3位	木津和メロス
----	-------	----	----------	----	--------
- 町内の部

1位	サンワランナース
----	----------



バドミントン大会が行われました

「第18回油木バドミントン大会」

- とき 11月21日(日)
- ところ 神石高原町油木体育館
- 主催 油木体育協会
- 結果
 - 団体戦の部

優勝	仙 義	準優勝	油木A
第3位	油木B		
 - 個人戦・男子の部

優勝	吉川 知之・田辺 大輔	組
準優勝	岡本 敬三・大坪 直己	組
第3位	佐藤 仁史・野村 俊英	組
 - 個人戦・女子の部

優勝	大坪 恵子・日谷美佐子	組
準優勝	世羅 裕枝・井山 恵美	組
第3位	日谷 里江・石井 朋美	組

「平成16年度神石バドミントン大会」

- とき 11月16日(火)
- ところ 神石高原町トレーニングセンター
- 主催 神石体育協会
- 結果
 - 個人戦男子の部

優勝	田辺 大輔・中橋 憲治	組
準優勝	園道 正嗣・西山 和志	組
 - 個人戦女子の部

優勝	岡田由里子・三石まゆみ	組
準優勝	小谷 彩・金山 静香	組

第7回油木高校杯ミニサッカー大会



11月20日(土)油木高等学校グラウンドで油木高校杯ミニサッカー大会が開催され、町内をはじめ福山市からも参加があり、ジュニアの部とフリーの部全13チームでリーグ戦や決勝トーナメントと熱戦を繰り広げました。

大会を主催した油木高校サッカー部員は、大会の運営もスムーズに行い、また、大会に参加した大学生から「福山では、このようなミニサッカーの大会はないので参加して楽しかった。来年も参加したい。」との感想もありました。

■大会結果

- ジュニアの部

優勝	来見スポスB
第2位	油木FCA
第3位	来見スポスA
 - フリーの部

優勝	市立福山高校
第2位	TODE.OB
第3位	COMOUFLAGE
- (福山平成大学)

油木地区



親子のふれあい大切に

ー油木ブルドッグス親子交流会ー

11月23日(火・祝)天神原グラウンドにて油木ブルドッグスが親子交流会を開催しました。当日は子どもたちの願いどおり晴天で、保護者も準備運動から一緒に汗を流し、その後子どもチームと保護者チームに分かれて試合を行いました。試合後は保護者手作りのおにぎりと温かい豚汁をお腹いっぱい食べ、楽しい1日となりました。



公民館体験教室「ちまき作り」

油木公民館が移転

合併に伴い、油木公民館が油木コミュニティセンターから油木山村開発センターに移転しました。油木コミュニティセンターのご利用については、役場油木支所総務課に申し込んでください。

○役場油木支所(総務課)

☎08478-2-0211

PICS
NEWS
IKOUGEN

冬のイルミネーション

よなみやま
米見山山頂公園の「とよまつ紙ヒコーキ・タワー」をライトアップし、約600球のイルミネーションをまとった光のツリーが静かな夜を演出しています。(期間は1月12日まで)

また、豊松地域では冬の街を彩るイルミネーションが各地で行われ、いつもの街並みは美しいイルミネーションでいっぱいの、眩しい宝石箱へと変身しています。



豊松地区



よなみやま

米見山山頂公園から初日を望む

標高663m、視界360度の大パノラマ!

朝6時半ごろより、山頂公園にて、初日を迎えませんか。当日は子ども神楽の上演や、杵で餅つきをし、きな粉で食べたり、笹酒もふるまわれます。

◆とき 1月1日

◆ところ 米見山山頂公園

◆山頂まで車で行けます。

神石地区

御おやらの 拓きし山の分水嶺 土うつ新世紀の 風すさぶ春

神石支所の北隣にある「21世紀の塔」の巨大掲示板の絵は4カ月ごとに地域の皆さんが制作しています。12月から掲げられているこの歌（神石短歌会）には、「21世紀になっても社会の情勢は混沌としているが、郷土愛を受け継ぎみんなでいふるさをつくっていく」という思いとともに神石高原町の新しい歴史をつくっていくという意味も込められています。



手づくり本刊行！ ～南自治振興会～

「我が思い出のふるさと永野南」は、南地域のほぼ全ての世帯の方が自ら筆をとり、この土地での暮らしぶりや懐かしい写真がたくさん綴られています。「他地域にはないような地域づくり事業が出来ないだろうか」と、およそ1年前から地域住民手作りによる本の製作に取り組み、この11月発刊となりました。

TOPIC
& NEWS
JINSEKI

大根もりもり大根まつり

11月14日（日）道の駅さんわ 182ステーションで坂瀬川大根まつり実行委員会による「大根まつり」が開催されました。今年も来見小学校3年生が自分たちで大切に育てた大根を販売したり、ゆず湯のサービスを行いました。今年は野菜の価格の高騰があったこともあり、大根や白菜等も飛ぶように売れ、アツというまに完売しました。消費者と生産者が収穫の喜びを分かち合えた一日となりました。



山盛りにされた 3,000 本の大根



つきたてのもちのできあがりを待つ人がずらり

神石高原町合併記念イベント

11月21日（日）道の駅さんわ 182ステーションで出荷者協議会により神石高原町の誕生を祝して合併記念イベントが開催されました。寒空の中にもかかわらず、多くの人が温かい豚汁等に舌鼓を打ちながら楽しく買い物をしました。

三和地区



帝釈の湯 オールナイト営業

～朝までやってまっスコラ！～

帝釈峡スコラ「帝釈の湯」では、12月31日（金）オールナイトで営業します。

さらに、夜10時以降お越しの方には特典サービスも用意しています。

機帝釈峡スコラ

☎ (08478) 6-0535

FAX (08478) 6-0353



帝釈峡スコラ高原

仙養ヶ原 ふれあいの里ニュース



イベント情報

35周年記念

『2005年 初日はやっぱり仙養ヶ原』

☆初日の出を眺めの良い仙養ヶ原で迎えませんか

日 時 2005年1月1日
6:30～

場 所 仙養ヶ原ふれあいの里
天文台前

催し物 鏡開き、餅つき、神楽など
主 催 仙養ヶ原初日を拝む会

ご予約・お問い合わせ

仙養ヶ原ふれあいの里
☎ 08478-2-2823

仙養ヶ原

税金について考えよう

中国納税貯蓄組合連合会主催「中学生の税についての作文・習字」の募集があり、中国5県476校からの応募がありました。町内中学校では、19人の生徒が府中管内納税貯蓄組合連合会金賞などを受賞しました。そのなかでも、府中税務署長賞に三和中学校3年生の瀬尾友美さんが、また、中国法人会長賞に同じく三和中2年生中村元紀くんが選ばれ、「これから自分たちが納めていかななくてはならないものなので、今回の作文をきっかけに税金について勉強したいです。」と話していました。



交番 だより

福山東警察署 ☎084-927-0110
油木 交番 ☎2-0123

重大事故多発!

国道182号で、重傷、死亡事故が発生

最近、国道182号で正面衝突事故によって、亡くなったり、大けがをされたりする事故が多発しています。

正面衝突事故の原因としては、

- ◎カーブ場所でのスピードの出し過ぎ
 - ◎脇見運転
 - ◎無理な追越し
- などが考えられます。

事故にあわない、起こさないためにも、

- ◎心と時間
 - ◎車に車間距離
- のゆとりある運転に心がけましょう。

「年末年始の犯罪・事故等の防止」

みんなの力で「安全・安心な街づくり」

身近な犯罪の防止

鍵かけて！涙をながすその前に！

留守宅、自動車内の貴重品が狙われています。確実な施設で大切な財産を守りましょう。

年末年始の雑踏事故防止

初詣・イベント行事で
混雑が予想されます！

子どもから「心」「目」「手」をはなさない！
現場の警察官や警備員の指示に従い冷静な行動をとりましょう。
余裕のある、無理のない計画をたてましょう！

町内の交通事故

～ 11月分～

物損事故	28 件
人傷事故	1 件

交通事故 0 の町を目指そう！



油木高校 ジャーナル

山の学校と海の学校をつなぐ

12月1日(水) 中国労働金庫の八幡司さんによる、ローンやクレジットについての消費者講座が行われました。油木高校の教室と竹原市の県立海高校の教室を、県内でも4校しか導入されていないテレビ会議システムで結び、2つの高校の生徒が同じ授業を受け、金融被害にあわないよう基礎知識を学びました。



乗馬体験者 200 人超す

平成14年8月産業ビジネス科に馬が導入されて以来、油木高校では飼育管理や調教について学習しています。2頭の馬は、高さ135cmの馬術競技バー



も飛び越えるまでになり、地域の方や地元小学生などの乗馬体験者が今年4月以降200人を超えました。

「課題研究発表会」開催される

11月24日(水) 油木山村開発センターで課題研究発表会が開催されました。平成13年度に総合的な学習の時間を導入してから、様々な進路研究やインターンシップなどを行ってきました。発表会は今年で3回目、プレゼンテーション能力や自己実現に向けての力が身につけてきたようです。



奨励賞受賞者続出 ～おめでとう!!～

- ◆第14回全国産業教育フェアで、産業ビジネス科3年伊吹祥子さんと立石円香さんが広島県代表で出場し奨励賞を受賞。
- ◆総合文化祭展示書道展では、普通科3年矢田貝美如さんが奨励賞を受賞。
- ◆第6回高校生ファッションデザインコンテストでは、昨年に続き普通科2年神部あかりさんが衣装デザイン部門奨励賞を受賞。



神石高原の いきいき農業

【基礎講座】 気象

神石高原町では、例年なら十二月後半には雪が降り始まります。昨年の十二月二十日には大雪が降り、ハウスや農作物などに予想外の被害を受けました。冬期間中に貯蔵する農作物の収穫作業、水田や畑の後片づけや土づくり作業などは早めに行いましょう。



花き

《草花類・鉢花類の防寒》

洋ランやシクラメンなど屋内の窓辺に置けるものは、屋内に入れて寒さを防ぎましょう。戸外で越冬させるものは鉢が割れる恐れがあります。鉢が土に埋めておくと割れにくくなります。また、土に植えてある草花類は、雪でつぶれない頑丈な支柱を作り、トンネルや寒冷紗などを被覆して寒さを防ぎましょう。灌水は午前中の暖かい時に行い、なるべく水はひかえめにするのが冬越しのコツです。



《畑の後片付け》

収穫した後の作物の茎葉や根などがそのまま畑に残っていると、その作物に特有の病虫害も畑に残り、翌年の発生源になることがよくあります。収穫後の残さは、できるだけ畑の外に持ち出して処分するようにしましょう。また、堆肥や土づくり資材などを施用して土を耕しておくことも大切です。



人と自然が輝く町づくりに青年会も一役！

～神石高原町青年会設立～

11月5日（金）油木山村開発センターで、神石高原町青年会の設立総会が開催されました。

総会では、会長に選出された中野達也さんが、「青年会の活動を通して、地域を発展させ、豊かなふるさとづくりができるように、自分自身も努力していきたい」とあいさつをしました。

また、旧町村単位で支部活動を継続していくことや、新しい1つの青年会として互いに連携を深めていくことなどを確認しました。

役員体制

（任期は平成17年3月31日まで）

会 長	中野 達也	油木支部
副 会 長	田邊 義浩	神石支部
副 会 長	黒川 俊宏	豊松支部
事務局 長	竹中 大二	三和支部
会 計	織田 陽子	三和支部
監 査 委 員	福本 高之	神石支部
監 査 委 員	高橋 英明	油木支部

（※敬称略）

町からのお知らせ

農林業センサスにご協力ください

平成十七年二月一日現在で全国一斉に「農林業の国勢調査」といわれる「二〇〇五年農林業センサス」が実施されます。この調査は、今後の農林業の政策に役立てるた

めに五年ごとに実施される極めて大切な調査です。

一月中旬から農林業を営んでいる皆さんのところに調査員が伺い、調査票に農林業の経営状況な

企画課 〇九—三三三—

農林業のいま



年金受給者への不審な文書にご注意ください

日本国民年金協会の名をかたまり、年金受給者等に対して「国民年金を納めていない方については国民健康保険証が交付されず、また、このまま保険料を納めないと財産が差し押さえられることもあ

る。」「現在受給している年金額に誤りが発覚し、『国民年金特例法』により過払い金を返金しないと年金の支給を停止する。」といった不審な文書が送付される事例が全国で発生しています。

日本国民年金協会は、東京都千代田区平河町に所在し、年金の支給停止や文書を送付することはありません。年金受給者の皆さんは、不審な文書に十分注意し、すぐに送付元に連絡せず、社会保険事務

住民課 〇九—三三三—

所に連絡してください。

備後府中社会保険事務所

〇〇八四七—四一—七四二一

農業所得の申告準備はできていますか？

所得申告は、自分で正しい所得を計算し申告することが原則です。このためには、一年間の所得がいくらになるか、正しく計算できる資料（出荷伝票・領収書・請求書等）を保管し、帳簿に正しく記入することが必要になります。

〇神石高原町指定の農業収支計算書を十二月に発送します。月ごとに集計し一年間の収入合計、経費合計を転記してください。
〇農業所得の事前相談は一月十一日（火）～一月三十一日（月）まで、各支所総務課町民係で受付します。できる限り、該当

地域の支所窓口へおいでください。
所得税の改正について
「存じですか？」
【平成十六年分の所得税から適用されるもの】

住民課 〇九—三三三—

〇配偶者特別控除の改正

【平成十七年分の所得税から適用されるもの】

〇公的年金等控除の改正

〇老年者控除の廃止

〇公的年金等に係る源泉徴収の改正

〇青色申告特別控除の改正

保健福祉センターだより

かぜの対処法

かぜは、ひかないように心がけることが第一ですが、ひきそうになったときの注意も大切。そしてひいてしまったら、早く治るように手当をします。



ひかないためには

- ・タンパク質・ビタミンA・Cをしっかりとる
- ・日頃から適度な運動をして、体力をつける
- ・外出から帰ったら、手洗いとうがいをする
- ・汚れた空気やほこりっぽい所をできるだけ避ける
- ・汗をかいたら、着替える
- ・体を冷やさない
- ・睡眠時間を確保する



蛋白質の多い食品

肉（鶏肉・牛肉・豚肉・その他）、魚、卵、大豆製品、牛乳

ビタミンAの多い食品

緑黄色野菜（かぼちゃ・人参・大根葉・小松菜・春菊・にら等）、うなぎ、レバー、牛乳、マーガリン

ビタミンCの多い食品

果物（特に柑橘類やいちご・柿等）、野菜（カリフラワー・キャベツ・ピーマン・ゴーヤ・ブロッコリー等）

ひきそうになったら

- ・寒気を感じたら室内温度や衣服を調節する
- ・温かい料理や飲み物で体を温める
- ・しっかり食べて栄養をとる
- ・早寝をして、睡眠を十分とる
- ・たばこを吸う人は控える

ひいてしまったら

- ・症状によっては医師の診察を受ける
- ・外出を避けて安静にする
- ・食べやすいものを食べ、栄養をとる
- ・食事や飲み物で水分を補給する

かぜを 寄せ付けない 生活チェック

①から⑮の項目に、
はい、いいえで答え、
点数を合計するとあな
たのポイントが出ます。

あなたのポイント

点

食事や生活の様子	はい	いいえ
①外出したとき、上着を着てくれば良かったと、後悔する事がよくある	2	0
②帰宅したら、手洗いとうがいを習慣にしている	0	2
③お酒を飲んだ後などに、うたが寝ることがよくある	3	0
④生活が忙しかったり、不規則で、疲れがみである	3	0
⑤室内と戸外との温度差に注意し、衣服で調節している	0	1
⑥たばこを吸う	2	0
⑦かぜの兆候があっても、かぜくらいと軽く考えてしまう	3	0
⑧入浴後や運動の後、薄着をしていて、寒く感じる事がよくある	3	0
⑨最近、ストレスを感じる事が多い	1	0
⑩睡眠時間が短い	1	0
⑪のどの渇きを感じても、我慢することが多い	1	0
⑫野菜が苦手、あるいは外食が多い、などの理由で野菜を食べる機会が少ない	2	0
⑬にんじんや青菜類が好きではなく、あまり食べない	1	0
⑭果物を毎日食べるようにしている	0	2
⑮肉、魚、豆腐などの蛋白質食品を主菜にした食事は、1日に0～1回 くらいしかない	2	0

0～9点……注意が行き届いています。でも、ひいたら休養を。
10～20点……かぜの予防にはもう少し注意が必要です。
21～29点……かぜに対して無防備。栄養と休養が必要です。

あなたはどのタイプ？

INFORMATION

お知らせ



国の教育ローンのご案内

【利用できる方】

高校・大学・専修学校など
融資の対象となる学校に入学・
在学される方の保護者で、年間
収入が九〇万円（事業所得者
の方は七〇万円）以内の方

【融資金額】

学生・生徒一人につき
二〇〇万円以内

【使いみち】

・入学時の費用
・学校納付金、受験にかつ
た費用、その他入学時に必要
な費用
・在学中の費用
・学校納付金、住居費用、通
学費、その他在学時に必要な
費用

【利率】

年一・七％

（平成十六年十一月十日現在）

【融資期間】

十年以内

（在学期間以内に
融資期間に含まれます）

【返済方法】

毎月元利均等返済

（ボーナス時増額返済も可能）

【保証】

勤労資金融資保証基金

または保証人一名以上

国民生活金融公庫福山支店

〒（〇八四）九三二一六五〇

催し物



オドル

モンゴル歌曲コンサート

【会場】

リーデンドールズ小ホール

【公演日】

二〇〇五年一月二十一日（金）

【開場】

十八時〇〇分

【開演】

十八時三〇分

【入場料】

無料（要整理券）

【主催】

福山地方文化のまちづくり事

【申込方法】

往復はがきの往信用の裏面

に、鑑賞を希望する人の「名前」

「郵便番号」「住所」「電話番号」

を「返信用の表面に「名前」「郵便番号」「住所」を記入のうえ、

お申し込みください。

※はがき一枚につき一名様のご

応募とさせていただきます。

※応募者多数の場合は抽選とさ

せていただきます。

※満六歳未満のお子様のご応募

はお断りいたします。

【申込・問い合わせ先】

〒七二〇〇〇八〇二

福山市松浜町二丁目一番一〇号

リーデンドールズ

「モンゴル歌曲」係

保健



まめくらぶ（神石三和病院健康学習会） 開催のご案内

県立神石三和病院では、「まめくらぶ」（神石三和病院健康学習会）を、毎月1回開催いたしております。

毎月テーマを変えて、専門の医師やスタッフにより、広く地域の皆様方に健康情報を提供いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

開催日	内容	担当
12月21日 (火)	『糖尿病』 —予防と合併症対策について—	内科医師 佐藤 貴子
平成17年 1月下旬	『健康食品何でも相談』 (仮題)	薬剤師 吉田 智子

◇病院内2階会議室で、11時から12時に行います。

◇問合せ先：県立神石三和病院 ☎(08478) 5-2711

担当は 外来看護師 下畑ミエ子
栄養室 波邊 鈴子

（締切二〇〇五年一月七日（金）必着）

☎（〇八四）九八一—八二五

☎（〇八四）九二八一—八〇一

モンゴルには特に美しい歌が多く伝わっているところから「歌の海」と呼ばれています。美しく響きわたるモンゴル独特の澄んだ歌声をお楽しみください。

◆町役場本庁 ☎9-3330

◆油木支所 ☎2-0211 ◆神石支所 ☎7-0211 ◆豊松支所 ☎4-2211 ◆三和支所 ☎5-5111

1 January						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

● 休館日 ■ 絵本のおはなし会

図書館だより Library Box

シルトピアカレッジ図書館

☎2-2002

新春ぬりえ大会

恒例の新春ぬりえ大会を今年もします。

子どもたちや、おとなの人も参加してください。

今回は、とり年にちなんだ5種類のぬりえをよういしています。あなたが選んだひとつを楽しく色づけてください。たくさん作品をまっています。(ぬりえ用紙は、図書館にあります)できた作品は、図書館で展示します。

しめきり：1月18日(火)

展示期間：1月20日(木)～

2月13日(日)

問合せ先：シルトピアカレッジ図書館

☎08478-2-2002

主催：神石高原町シルトピアカレッジ図書館

共催：神石高原町家庭教育支援センター



年末・年始休館のお知らせ
 年末・年始の休館日はつぎのとおりです。ご協力をお願いいたします。
 ○休館する日 平成十六年十二月二十七日(月)～平成十七年一月四日(火)まで
 図書・CD・ビデオ等、年末年始の休館中が返却日の場合は、年明けの開館している時にお返しいただくか、玄関右の返却ポストにいらしてください。
 ※一月五日から平常どおり開館します。



今月の「絵本のおはなし会」

今月「ゆきんこ」のみなさんによる楽しい絵本のおはなし会があります。みなさんぜひ聴きにきてください。

★とき 12月18日(土) ひる2時～

1月15日(土) ひる2時～

★ところ シルトピアカレッジ図書館
(児童コーナー)

人権シリーズ②

平和な社会は
人権の確立から

毎年十二月十日は「人権の日」です。

一人ひとりの生命の尊厳や共生の大切さは、二度にわたる世界大戦の教訓です。

そのことをふまえ、五十六年前のこの日、世界人権宣言が国連で採択されました。

それは、すべての人間は、生まれながらに自由で、尊厳と権利について平等であることを宣言したものです。

そして、四日から十日までの一週間が「人権週間」として定められ、各地でさまざまな取り組みが行われてきました。

基本的人権という考え方は、日本国憲法はもとより、人権条約や世界の国々への憲法、子どもを取り入れられ、女性、高齢者、子どもなどの権利など、それぞれの問題に取り組んでいくための基本となっているのです。

世界の恒久平和は、原爆による惨禍を経験している私たち広島県民にとって、特に切なる願いです。

平和な社会を実現するためにも、人権のないところに平和はありえないことを学び合い、不断の努力をしなければなりません。



小島自治振興会の
原 清美さん

輝いている人を紹介します

No.2

田舎に生きてしあわせ!

「人は人に育てられる」と語る原さん。油木地区の夢屋で毎日惣菜を作っています。メニューを考えるのは、外食をヒントにするそうです。

「人との出会いが自分の財産になる。だから人を大切にしたい。」と語る原さんが、まわりの人に元気を与え、話題にあがる人だということは間違いなしです。

「今の仕事について理由は？人との出会いが好きということもあり、レジ係から始めました。」
「仕事が終わる日は何をしていますか？」

料理教室へ行ってまたまた腕を磨いています。

あなたの活躍の場を教えてください。

友達や子どもたちと一緒にパンやお菓子を作るのが好きです。料理教室で習ったことを多くの人に伝えたいと思っています。
「どんな神石高原町にしたいですか？」

人が集まる場に世代を超えた多くの人が参加して出会うまち。一人ひとりが盛り上げるまちづくりがしたいです。

最後にあなたのPRを。

会えてよかった、また会いたいと言われるような心がけています。私の作った惣菜を食べに来てください！
次は、友達を通して知り合ったトルペントの先生で、井関大矢（自治振興会）の江崎陽子さんを紹介します。

お誕生

11月届出分

自治振興会

お悔やみ

11月届出分

自治振興会

名前	年齢
馬屋原サカエ（坂瀬川）	84歳
渡邊 章（上）	85歳
近真 利枝（仙義西）	59歳
横山 房代（新坂）	83歳
森山 哲一（木津和）	93歳
若林 哲吉（井関大矢）	90歳
岡崎 暁（福永）	85歳
武島 魚市（相渡）	90歳
日下 糸代（父木野）	91歳
岡本フクヨ（高蓋）	85歳
山岡 繁子（父木野）	77歳
佐藤 泰三（高光）	85歳
川上 實夫（南）	82歳
平石 文作（西油木）	77歳

人口と世帯

人口	12,454人
男	5,950人
女	6,504人
世帯	4,337世帯

11月末日現在

12月の 納税

国民健康保険税 7期

納期限 12月28日

※町税等の納付は便利で確実な
口座振替をご利用ください。



るみな
田邊 潤くん (高蓋)

☆親の願い

誰からも愛されるやさしい
子になってね。



ゆうと
瀬尾 優斗くん (高蓋)

☆親の願い

明るく元気で、思いやりの
ある子に育ってね。



まさと
小林 柊斗くん (小島)

☆親の願い

元気で素直な子に育ってく
ださいね。



はるや
前川 晴哉くん (福永)

☆親の願い

元気がいっぱい、のびのびと
育ってね。



ゆいしょう
大橋 由尚ちゃん (時安)

☆親の願い

元気で素直な子どもに育て
ればと思っています。



くらしの便利帳にある
お得券、使ってますか？



早いもので今年もあとわず
か。年越しの準備はできていま
すか？
十二月は何かと忙しいです
が、イルミネーションやクリス
マスのイベントなど楽しみはふ
くらみませう。また、大晦日には
年越しそばを食べ、除夜の鐘を
聴きながらゆつくりお風呂に入
るのもいいものです。
くる年が皆様に良い年であり
ますように。

編集後記